



2014 年 9 月 8 日

国際森林製紙団体協議会（ICFPA）

世界の林産品産業は国際識字デーをお祝いします

9 月 8 日は国際識字デーです。国際識字デーでは、国連教育科学文化機関（UNESCO）が個人やコミュニティ、そして社会に対し識字の重要性を PR します。国際森林製紙団体協議会（ICFPA）は、世界の林産品産業の世界の識字率向上への貢献についてご紹介できることを光栄に思います。

ICFPA 理事長のドナ・ハーマンは次のようにコメントしています。「読解力は単に文章に関係するだけではなく、紙媒体とも密接に関係しています。長年にわたって、紙は非常に効果的な学習ツールであることを証明してきましたが、今後も最も効果的な読書媒体であることは変わりません」。

調査によると、紙媒体は読解力や情報の記憶力を促進すること、また紙の教科書は電子教科書よりも学習能力を高める効果があることが明らかになっています。

ICFPA は世界 30 カ国以上の木材・製紙業界団体によって構成されている国際業界団体で、会員合計で世界の紙・板紙生産量の約 90%、木材生産量の 60%を占めています。

世界の林産品産業のサステナビリティについて、詳しくは ICFPA のウェブサイト（www.icfpa.org）をご覧ください。

・ 本件に関するお問い合わせ先：

Ms. Katharine Eaton（米国林産品製紙連合会）

TEL: +1-202-463-2436 Email: comm@afandpa.org